

へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎ
平成28年度第6回川崎区区民会議

す ぶかい しだい
「だれもが住みたいまちをつくる部会」次第

にちじ へいせい ねん がつ にち か ごご じ ぶん
日時：平成29年1月31日（火）午後6時30分
ばしょ かわさきくやくしよ かい だい かいぎしつ
場所：川崎区役所7階 第1会議室

1 かいかい
開会

2 ぎだい
議題

(1) しんぎかだい しりょう
審議課題について（資料1）

(2) くみんかいぎふおーらむ あん しりょう
区民会議フォーラム（案）について（資料2）

(3) だい きかわさきくくみんかいぎちゅうかんほうこくしよ そあん しりょう
第6期川崎区区民会議中間報告書（素案）について（資料3）

(4) しんぎすけじゅーる しりょう
審議スケジュールについて（資料4）

3 た
その他

はいふしりょう
【配布資料】

- しりょう しんぎかだい
資料1：審議課題について
- しりょう へいせい ねんど だい きかわさきくくみんかいぎふおーらむじっしがいよう あん
資料2：平成28年度 第6期川崎区区民会議フォーラム実施概要（案）
- しりょう だい きかわさきくくみんかいぎちゅうかんほうこくしよ そあん
資料3：第6期川崎区区民会議中間報告書（素案）
- しりょう しんぎすけじゅーる
資料4：審議スケジュールについて
- べっし だい きかわさきくくみんかいぎ いんめいぼ
別紙1：第6期川崎区区民会議委員名簿
- べっし ざせきひょう
別紙2：座席表

※ じかいぜんたいかいぎについて
次回全体会議日程

にちじ へいせい ねん がつ にち きん ごご じ ぶん
日時 平成29年2月17日（金）午後6時30分から
ばしょ かわさきくやくしよ かいかいぎしつ
場所 川崎区役所7階会議室

だい き かわさきくくみんかいぎ す ぶかい しんぎかだい
第 6 期川崎区区民会議「だれもが住みたいまちをつくる部会」 審議課題について

しんぎてーま
審議テーマ 1

ちいき みまも かつどう すいしん
『**地域による見守り活動の推進**』

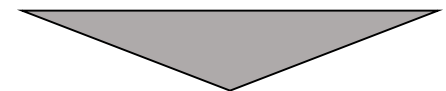
だい きくみんかいぎ おこな みまも かつどう
◎ **第 5 期区民会議で行った見守り活動の実態調査を踏まえた取組の展開**

さくせい さっし けいはつ はいふ すす
◎ **作成した冊子の啓発・配布を進めるとともに、高齢者の見守り活動の充実のための検討**

こうれいしゃ む ちいきじょうほう し ちいきじょうほう
◎ **高齢者に向けた地域情報誌、地域情報マップの作成の検討**

- だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第 4 回専門部会までに出された主な意見
- ① 第 5 期区民会議の成果である見守り事例の発信・活用によるこれからの取組につながるような、地域が活性化するような活動をしていきたい。
 - ② ひとり暮らし高齢者の孤立化防止のため、高齢者が歩いて行ける範囲に、ひとり暮らし高齢者が会話できる場、交流の場づくりが必要で、何か仕組みなどを審議していきたい。
 - ③ ある地区を選定して、1つのモデルケースとして提案することが考えられる。
 - ④ 個人情報に配慮しつつ、配達してくれるお店の情報など、ひとり暮らし高齢者が活用できるような情報マップが作成できるといい。
 - ⑤ いざという災害時に助けてくれる方がどこにいるのかも重要だと思う。そのような方を紹介するような情報もあるといい。
 - ⑥ 行政等が同様のものを作っているため、それと重ならないようなものを作っていく必要がある。より地域に密着した身近な視点が必要になる。

- だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第 5 回専門部会 (12/12) で出された主な意見
- だい き とりくみ ふきゅう けいはつ
＜第 5 期の取組の普及・啓発について＞
- ① 中央・大師・田島地区のそれぞれで、見守り活動を行っている団体を取材し、第 5 期の良い事例として紹介しながら普及させていくのはどうか。
- ちいきじょうほう
＜地域情報マップづくりについて＞
- ① 見守りや支援を行っている人たちに対して、活動の支援として使っていけるマップを作ってはどうか。また、マップは活動をしている各団体が自主性を持って作れるマニュアルを作成して、第 5 期の取組である事例紹介とマップ作りの活動を一緒に普及・啓発していければいい。
 - ② 第 5 期とのつながりから考えると、支援活動を行っている方々に向けた情報マップ作りが良い気がする。ただし、個人情報が絡んでくるため、ごく一部の方しか持たないマップを作るということになるが、誰もが見られるマップは、一般的な情報しか掲載できずによりふれたマップになってしまう。
 - ③ 支援活動をする側の方が活動をしやすいように、こういった情報はここに載っているといった一覧表を作成してもいいと思う。
 - ④ 様々な支援活動をしている方々がどのような情報を求めているのかを調査して、高齢者、子育て、外国人など、それぞれの視点を持ちながら、支援していく情報や資源などをしっかり整理してまとめていくこと必要である。
 - ⑤ 支援活動などを行っている方の生の声を聞くために、関連の団体の方を集めるような会を開催していくことも考えられる。



- こんご けんとうじこう
【今後の検討事項】
- **第 5 期の取組の普及・啓発**
 - ・第 5 期に提案した取組を発展させていくために、どのような普及・啓発を行い、どのような取組をやっていくか。
 - **地域情報マップづくり**
 - ・どのような情報マップを誰のために（見守り活動団体向け、独居高齢者向けなど）何の目的で、どのように、作成するか。
 - ・情報マップをひとり暮らし高齢者の方に活用してもらうためにはどのような情報を掲載したらよいか。
 - ・どの地区をモデルとして選定するか。
 - ・マップ作成のための調査はどのように行うか。
 - ・1つの地区でモデル的に作成したあと、どのような展開で普及させていくか。

だい き かわさきくくみんかいぎ す ぶかい しんぎかだい
第6期川崎区区民会議「だれもが住みたいまちをつくる部会」 審議課題について

しんぎてーま
審議テーマ2
こそだ しえん じゅうじつ
『子育て支援の充実』

だいしちく こ いくせいしえんだんたい
◎大師地区における「子ども育成支援団体
どうし じょうほうこうかんかい けいぞくてき かいさい てんかい
同士の情報交換会」の継続的な開催・展開

かていきょういく とりくみ けんとう
◎家庭教育への取組の検討

こ こ も おや む ちいき
◎子ども、子どもを持つ親などに向けた地域
じょうほうし ちいきじょうほう まっ ぶ さくせい けんとう
情報誌、地域情報マップの作成の検討

だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第4回専門部会までに出された主な意見

- ① 第4期区民会議から取り組んでいる「子育て支援団体の情報交換会」の展開・継続に力を入れていく方が良いと思う。会の事務局を誰がどのように担うのかという重要な課題が残っている。
- ② 「子どものまちづくりと犯罪対策」に興味を持った。警察が出てくるところまでいくと取り返しがつかないが、「家庭教育への取組」ということであれば取り上げられるのではないかと。
- ③ 子どもを持つ親に、地域情報の発信をしていくことは大切である。以前、地域情報を掲載したマップを作成したら、とても喜ばれて活用してくれた。
- ④ 様々な団体が、それぞれの分野に特化した情報誌やマップを作成している。例えば、高齢者や子育て中の母親など、対象を絞ったものを作成すると喜ばれると思う。
- ⑤ 高齢者支援のためのマップと子育て支援のためのマップを作成するに当たっては、同じ地区を選定した方が良いと思う。あまりこだわらずに、簡単で使いやすいものを作るといいかもしれない。いずれは全地区で作成していくことが理想である。

だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第5回専門部会で出された主な意見

＜地域情報マップづくりについて＞

- ① 見守りや支援を行っている側に対して、活動の支援として使っていけるマップを作ってはどうか。また、マップは活動をしている各団体が自主性を持つて作れるマニュアルを作成して、第5期の取組である事例紹介とマップ作りの活動を一緒に普及・啓発していければいい。(再掲)
- ② 例えば、保育園や子育て支援センター、公園などの場所を各自が記載していく。改めて自分でマップを作成し、子育てに役立てていくことができる。世代や立場によって記載していく内容が異なり、自分だけの役立つマップができるイメージである。
- ③ 子育て施設の情報というよりは、地域でこういった活動がある、母親のための子育て相談窓口がここにある、こういった行政サービスがある、というような情報は意外に知らないのではないかと。
- ④ 様々な支援活動をしている方々がどのような情報を求めているのかを調査して、高齢者、子育て、外国人など、それぞれの視点を持ちながら、支援していく情報や資源などをしっかり整理してまとめていくこと必要である。(再掲)

こんご けんとうじこう
【今後の検討事項】

- 子ども育成支援団体同士の情報交換会
・ 大師地区における「子ども育成支援団体同士の情報交換会」をどのように継続的な開催・展開にするか。
- 地域情報マップづくり
・ どのような情報マップを誰に向けて作成するか。
・ 情報マップを子どもを持つ親などに活用してもらうためにはどのような情報を掲載したらよいか。
・ どの地区をモデルとして選定するか。
・ マップ作成のための調査はどのように行うか。
・ 1つの地区でモデル的に作成したあと、どのような展開で普及させていくか。
- 家庭教育への取組
・ 家庭教育の取組に向けてどのような内容を検討するか。

だい き かわさきくくみんかいぎ す ぶかい しんぎかだい
第6期川崎区区民会議「だれもが住みたいまちをつくる部会」 審議課題について

しんぎてーま
審議テーマ3

がいこくじんしみん す
『外国人市民も住みやすいまちづくり』

くやくしよ がいこくじんまどぐちそうだんじぎょう りょうそくしん
◎区役所の外国人窓口相談事業の利用促進
さく けんとう
策の検討

がいこくじん ちいき かつどう むす とりくみ
◎外国人と地域の活動を結び付ける取組

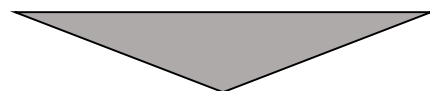
◎わかりやすいパンフレットの作成など
こうほう かた けんとう
広報のやり方の検討

だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第4回専門部会までに出された主な意見

- ① 区役所外国人窓口相談事業の利用促進を取り上げたい。外国人市民の方も相談したいのに、窓口があることを知らない方が多く、需要と供給が結び付いていない状況である。
- ② 外国人転入者には必ず知らせる広報や、外国人市民の集まる教会や識字学級などで広報する仕組みが必要だと感じる。
- ③ 区民会議の取組として、相談窓口の場所を作っていくことはハードルが高いかもしれないが、現在ある窓口情報のチラシを作成して、それを多言語化して配布していったらどうか。
- ④ 例えば、役所の対応にも限界があるかもしれないが、本当に困っているのであれば、相談窓口にいる通訳の方が一緒に付いて行って、役所で相談するなどの対応もできると思う。相談窓口があまり機能していない現状は、やはり改善する必要がある。
- ⑤ 外国人市民の生の声を聞くということで、一度ヒアリングのような形で意見交換をしたい。
- ⑥ 川崎区は川崎市内で最も外国人が多い区であるため、他の区の見本となるように、外国人に対する取組を推進していきたい。

だい かいせんもんぶかい だ おも いけん
第5回専門部会（12/12）で出された主な意見

- ① 「川崎市に住む外国人の皆さんへ」という行政サービスの窓口と問い合わせが多言語で掲載されている冊子の中身について、外国人の方にあまり共有されていないと感じる。行政側の対応が縦割りなので、なかなか理解が難しい。例えば、国際交流協会がやっている相談窓口もあるし、区役所がやっている相談窓口もあるし、県民センターでやっている相談もある。また、時間も言語ごとに細かく区切られており、なかなか利用実績がない状況である。
- ② 外国人市民の方に、自分達が困ったときにどこに行けば相談できるのかということが複合的にわかるマップを区民会議で作成して多言語化までしたいと考えている。高齢者支援、子育て支援でも同じことが言えるが、バラバラになっているものを横につなげて見える化していくことが大切。
- ③ 外国人市民向けの防災フォーラムは、実際に事業化されて取組が進められているが、実際に行政が現場に加わった中で、外国人の方の意見を聞く場をもう設けていきたい。



こんご けんとうじこう
【今後の検討事項】

●広報のやり方（パンフレットの作成）

- 外国人市民のための相談窓口をわかりやすくまとめたパンフレットをどのように作成するか。
- 外国人市民の方を集めたヒアリングの段取り、日程調整などをどのように設定するか。
- ヒアリングの目的とその内容について明確にする。
- 外国人市民相談窓口の利用促進に向けて、行政がやることと区民会議ができることを役割分担し、区民会議でできることを明確にする。